

野生動物の保全と管理の最前線 拡大する被害に どう立ち向かうか

近年、野生動物問題は、農村地域における農林業被害にとどまらず、住宅地や市街地に出没するなど、被害の多様化が見られます。このような拡大する野生動物の被害にどのように対応すればよいのでしょうか？

本シンポジウムでは、兵庫県森林動物研究センターの最新のデータ分析に基づく現状や取り組みの成果を紹介し、今後の対策と体制づくりについて議論します。

参加
無料

プロ
グラム

- 野生動物はなぜ出没するようになったのか？
ーその背景にある基本的構図
藤木大介 兵庫県立大学 講師 / 森林動物研究センター 研究員
- 都市環境へ進出する野生動物
ーイノシシの市街地出沒要因を探る
横山真弓 兵庫県立大学 准教授 / 森林動物研究センター 主任研究員
- 孤立した群れが引き起こす被害への対応
ー住民・行政の協働によるサル管理モデル
鈴木克哉 兵庫県立大学 助教 / 森林動物研究センター 研究員
- 地域が主体となった獣害対策
ー「獣害に強い集落づくり」の実践
安井淳雅 森林動物研究センター 森林動物専門員
- ◆ パネルディスカッション
コーディネーター
林 良博 森林動物研究センター 所長

日時：2013 年 2 月 16 日 (土)

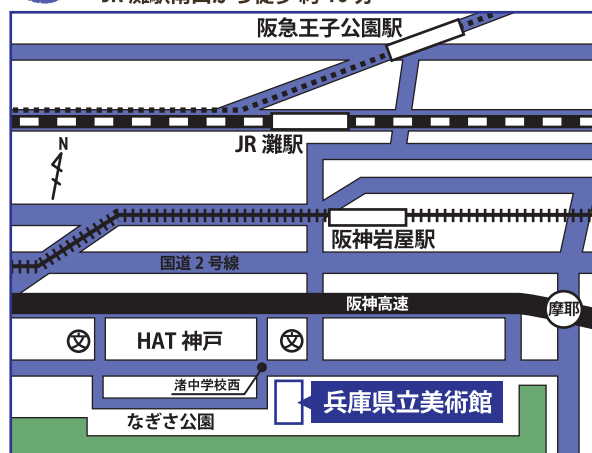
13:00 ~ 16:30

会場：兵庫県立美術館

ミュージアムホール

アクセ
ス

・阪神岩屋駅から徒歩約 8 分 ※駐車場に限りがあります。
・JR 灘駅南口から徒歩約 10 分 公共交通機関をご利用下さい。



兵庫県立美術館 (ギャラリー棟 1 階) ミュージアムホール
住所：神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1

お申
込み

「シンポジウム参加希望」と、お名前・ご住所・電話番号を明記の上、
当研究センターホームページまたは FAX、E-mail にてお申込みください。

TEL 0795-80-5500 URL <http://www.wmi-hyogo.jp/>
FAX 0795-80-5506 MAIL info@wmi-hyogo.jp
(裏面をお使いください)

定員 250 名

定員になり次第
締め切ります

QRコード対応の携帯電話を
お持ちの方は、ご利用下さい。

お申込み専用 QRコード ▶



主催



兵庫県
森林動物研究センター

共催

兵庫県立大学
自然・環境科学研究所